

市民助け合いネット

仲間通信

〔第35号〕

発行

NPO法人
市民助け合いネット
代表 片岡 興一
〒270-0123 流山市若葉台3-131
☎ 04-7153-5733

平成29年11月末現在

私たちの仲間

総数 1160名

提供会員 437名

利用会員 723名

長寿社会開発センター発行「porta 第28号」掲載の当会紹介写真より引用



多世代が交流し、お互いに支え合い、助け合う地域づくりで誰にも優しく、住みやすい街の実現を！

改正介護保険制度が施行されて丸三年が経過しようとしている。国は地域包括ケアシステムの実現を目指し、住民主体の生活支援体制づくりに全力で取り組んでいる。全国の各市区町村では、社会福祉協議会が中心となって協議体と生活支援体制づくりに取り組んでいる様子が、さわやか福祉財団主催の全国交流フォーラムで報告された。流山市も協議体づくり、生活支援体制づくりが急がれる。

去る十月三十日(月)東京・両国のKFCホールで、主体の生活支援体制づくりさわやか福祉財団全国交流フォーラムが開催されました。区町村から事例報告がありました。昨年引き続き介護保険制度改正により地域包括

昨年報告と比べると今年

年は、全国各地の取り組みに大きな進展が見られたことです。昨年は、生活支援コーディネーターと協議体づくりに着手している状況や進め方についての苦労話が多く見られましたが、今年、具体的な体制づくりが着々と進んでいることを実感できる内容でした。特に、どの市区町村も社会福祉協議会の職員の方がその中心となって生活支援体制づくりのリーダー的立場で知恵と工夫を凝らして頑張っていました。

生活支援の仲間づくりの必要性を分かってもらうため、寸劇や漫才仕立てにして啓蒙活動を進めているところは感心させられました。流山市は、当会のように市民が十数年前に自主的に立ち上げた生活支援団体が存在していることが結果として協議体づくりにマイナスになっていないか、また、これまで福祉関係団体同士が連携関係を築いてこなか

ったことが今になって協議体づくりの妨げになっていないかどうか……少々懸念すべき時期になってきたように思います。本紙三十三号で予告した「ウサギと亀」の寓話が流山市では現実にならないように全市を挙げて協議体づくり、生活支援体制づくりに早急に取り組まれることを望みます。市民助け合いネットは、これからの地域づくりの目指す姿として各世代が協力して支え

去る九月五日「えがお」オープンから三年二カ月と五日で利用者一万五千人突破しました。幸運の一万五千人目の来場者は、中野久木からお見えの竹内久二夫・三代子ご夫妻でした。奥さんが二回目、旦那さんは初めての来場という大変ラッキーな方でした。

ふれあいの家「えがお」利用者1万5千人突破！



一万五千人突破が昨年の一〇月。このままいくと二万人突破は、来年の七月頃になりそうな勢いです。その時は、盛大にお祝いを計画したいと思えます。この三年あまりの「えがお」の活動は、私たちの思っている以上に、文化祭を開催したい、など利用者の自発的な働きかけで、新しい仲間が次々に生まれています。単純なことかもしれませんが、「楽しいから集まる、えがおに来ると仲間がいる」そんなワクワクした気持ちで沢山の方が「えがお」を利用していただくことを私たちは願っています。年末の「えがお」は十二月二十七日(水)までです。年明けは、一月九日からオープンします。



写真は1万5千人目の竹内ご夫妻と片岡代表

合い助け合う地域づくりを目的とし、「多世代が交流し、お互いに支え合い助け合う地域の実現」をコンセプトに活動を進めていきます。私たちは各世代が市民活動、地域活動を通して交流することから各世代が抱える課題を理解し、共有することで助け合いの輪が広がることを目指し活動していきます。市民助け合いネットは、市民と行政の共同事業として永く取り組んでいる市民活動推進センターや公民館事業を通して、地域活動の重要性を広く啓蒙し、地域ごとに生活支援体制が組織化できるように会を挙げて取り組んでまいります。

今年前半の活動状況とトピックス

今年もあと残すところ二十日ほどになりました。二週続けて秋台風が襲来したと思ったら一気に冬將軍の到来などで異常気象に振り回される今日この頃ですが、元氣にお過ごしでしょうか？ 市民助け合いネットの今年前半の活動状況、トピックスをご報告いたします。

平成29年度 ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰を受ける



去る七月十七日、千葉県庁に於いて平成二十九年度ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰の顕彰式が行われました。

顕彰式には当会から片岡代表が出席しました。生き生きシニア活動顕彰は、ニッセイ財団が全国都道府県知事の推薦を受け、高齢者福祉に貢献している団体を顕彰するもので、千葉県では四団体が顕彰されました。市民助け合いネットは十三年間に亘る高齢者生活支援活動と「えがお」による元氣シニアづくりが評価され

たものです。高齢化が深刻化する現在、私たちの活動は無くしてはならない重要な活動です。

提供会員の皆さまの益々のご活躍をお願いいたします。

写真は、各分野の顕彰された団体。片岡代表は前列左端。

大盛況だった 第一回「えがお」文化祭

十月二十一日、二十二日の二日間に亘り、ふれあいの家「えがお」で、普段えがおを利用している有志の方の発案で、第一回えがお文化祭を開催しました。

季節外れの大型台風襲来で、あじく風の雨の二日間でしたが、風雨に負けず大勢の方に来場いただき、皆で芸術の秋に相応しく、芸術談議に花を咲かせていました。

普段の付き合いではなかなか気が付かない隠れた芸術家の方がたの力作に「えがお」に集まった皆さんから感嘆の声があちこちから聞こえていました。次回も是非、開催してください。



芸術作品に見入る来場者

の声を聴きながら文化祭が大盛況のうち幕を閉じました。

全国情報誌「ポルタ」の取材を受けました。

ポルタ第二十八号に当会の活動が掲載されました。

雑誌「ポルタ」は一般財団法人 長寿社会開発センター(前身は厚生労働省老健局所管の財団法人)の高齢者の生きがいと健康づくりを推進する団体の情報誌として発行されています。

私たちのモットーである「助け合って、触れ合って、みんな「えがお」を特集していただきました。私たちの活動が全国で取り組んでいる住民主体の生活支援体制づくりに少しでも参考になればとの思いで取材に協力しました。

えがお専用駐車場ののご案内

「えがお」に車でお越しの皆さんには駐車場でご不便をおかけしております。流山市から駐車場用地を借りることが出来、待望の「えがお」専用駐車場(写真)が完成いたしました。

普通車なら十二台まで駐車可能です。助け合い活動用に四台、えがお利用者向けに八台確保しております。

場所は、西初石小学校の下にありますが、えがおまで少し歩くこととなります。※駐車料金二百円/終日



待望の駐車場 入口から撮影



事務所からのお知らせ

- ★助け合いの依頼は、早めに余裕を持ってお願いします。また、依頼は必ず事務所にお願いします。
- ★助け合い活動のチケットの精算は、出来るだけ早めをお願いします。
- ★送迎を除く生活支援作業は、12月16日までとさせていただきます。
- ★年末年始は、12月29日～1月3日まで事務所はお休みです。
- ★「えがお」は1月9日からオープンします。

市民助け合いネットは、地元に着実に誠実で信頼のおける「東葛福祉葬祭」と提携したことは仲間通信、説明会などで、ご案内したとおりですが、ご利用にあたって「市民助け合いネットの会員です」とひと言伝えていただければ、会員特典が受けられます。是非、ご利用ください。

提携葬儀社があるの
ご存知ですか？

市民助け合いネット 提携葬儀社
TFS 東葛福祉葬祭
有限会社

24時間 365日 流山市東深井 105-10
☎ 0120-40-4194

葬儀のことなら「東葛福祉葬祭」をご利用ください。